MUSEUM NEWS

2019.6 ► 2019.7

May I Start?
計良宏文の越境するヘアメイク

とき・7/6(土)～9/1(日)
ところ・2階展示室
内容・今注目のヘアメイクアップアーティスト・計良宏文（けら・ひろふみ）の仕事を通して、ヘアメイクの現在と可能性を新たな視点からとらえる展覧会です。計良は宣伝広告や雑誌のヘアメイクを数多く手がけ、パリコレクションをはじめ国内外のファッションショーでヘアチーフを務めるなど、ファッション＆ビューティーの最前線で活躍してきました。一方で、近年は現代美術など他領域のアーティストと積極的に協働し、ヘアメイクの概念を刷新する活動を展開しています。

展示では、広く知られる宣伝広告などの仕事から、従来のヘアメイクの枠を超える挑戦的な仕事まで、計良のクリエーションの全貌を紹介します。計良がヘアメイクを担当した森村泰昌の作品や、かしら（頭部）を制作した文楽人形など、これまでのコラボレーションの成果を紹介するとともに、ファッションデザイナー・坂部三樹郎との共作による大規模な新作映像インスタレーションも発表します。

観覧料・1100円（880円）、大高生880円（710円）
※(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

来場者特典
会期中の毎日、1階受付で本展観覧券をご購入の方先着30名様にオリジナルクリアファイルを差し上げます。

《関連イベント》
○トークライブ
とき・7/12(金)14:30～16:00（開場14:00）
ところ・2階講堂
登壇者・計良宏文×髙崎卓馬（株式会社電通　エグゼクティブ・クリエーティブディレクター）
定員・80名（当日先着順）/ **費用**・無料

○ヘアメイクライブ［2回開催／整理券制］
とき・7/15(月・祝)①11:00～11:30／②15:00～15:30
ところ・2階企画展示室
定員・50名（各回とも開始時刻の1時間前から1階受付で整理券を配布いたします。）/ **費用**・企画展観覧料が必要です。
内容・展示室内に設置したステージで、計良宏文がヘアメイクの実演を行います。

○計良宏文滞在制作
とき・7/20(土)(詳細は後日HPでお知らせします)
ところ・2階企画展示室
費用・企画展観覧料が必要です。
内容・展示室内で計良宏文が文楽人形のかしら（頭部）を制作します。

この号のオモテ面の半分は、今夏開催する企画展「May I Start? 計良宏文の越境するヘアメイク」の告知・紹介記事の割り当てでした。資生堂のトップヘアメイクアップアーティストとしてファッション＆ビューティーの分野を中心に活躍している計良さんですが、その活動は従来の「ヘアメイク」の枠にとどまらない挑戦的なもので、展覧会も多様な領域が交差する斬新な展示になるはずです。彼の多才さや活動の広がりをこのZOCALOの記事から想像してもらうにはどうすればよいだろうか、と考えた結果、計良さんのInstagramページに「擬態」した紙面になりました。写真は実際に計良さんのInstagramアカウントに投稿されているものから、この展覧会を作る途中経過にかかわるものまでさまざまですが、展示をご覧いただいたときに「これか！」と気づいていただけるはず。当館にとっても新しいチャレンジとなる本展がどのような形に結実するか、ぜひご期待ください。(I.O.)

アート体感ワークショップ
MOMASのとびら

とき・土曜日 13:30～15:00
対象・幼児から大人まで
費用・『工房』は５００円。その他無料。
申込方法・館内で配布する申込用紙（ホームページからもダウンロード可）によりＦＡＸでお申し込みいただくか、ホームページから直接お申し込みください。

こちらからもお申し込みできます▶

7月分のお申込みを６／１（土）から受け付けます。
7／　6（土）フリープログラム[どなたでも]※申込不要
7／13（土）み～っけ！[未就学児＋保護者]
7／20（土）工房[小学生～大人]
7／27（土）アート★ビンゴ[どなたでも]※申込不要

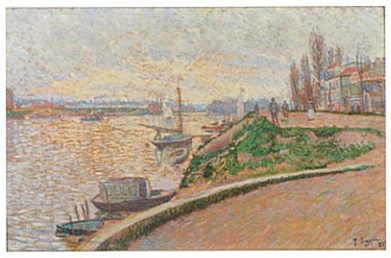
8月分のお申込みを７／１（月）から受け付けます。
MOMASのとびら拡大版、サマー・アドベンチャーを８／３(土)、１０(土)、１７(土)、２４(土)に実施します。詳しくは別途HP等にてお知らせします。

MOMASコレクション（収蔵品展）

2019年度 第1期
とき・4/20（土）～7/21（日）
ところ・1階展示室
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
※(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。
※会期中の毎日14時から、美術館サポーター（ガイド・ボランティア）が展示作品について解説します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。
※会期中一部作品の展示替えがあります(前期:4/20～6/2、後期:6/4～7/21)。

◇ セレクション：ウジェーヌ・ドラクロワから新印象主義へ
ポール・シニャックの著作『ウジェーヌ・ドラクロワから新印象主義へ』を手がかりに、西洋の近代絵画の流れをたどります。

ウジェーヌ・ドラクロワ《聖ステパノの遺骸を抱え起こす弟子たち》1860年　登録美術品 / 丸沼芸術の森蔵


ポール・シニャック《アニエールの河岸》1885年

◇ 山水から風景へ
近現代の日本画における風景表現の変遷をたどります。
◇ 自然の造形ー増田三男作品を中心に
さいたま市出身で彫金の重要無形文化財保持者（人間国宝）増田三男（1909～2009）の作品を中心に、動植物をモチーフにした工芸作品を紹介します。

《関連イベント》
○サンデー・トーク
内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。
費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

とき・6/9(日)15:00～15:30
担当学芸員・吉岡知子
作品・ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー《イタリアの想い出》1866年

とき・7/21(日)15:00～15:30
担当学芸員・鴫原悠
作品・川合玉堂《高原秋晴》1941年

2019年度 第2期
とき・7/27（土）～10/20（日）
ところ・1階展示室
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
※(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。
※7月27日、28日を除く会期中の毎日14時から、美術館サポーター（ガイド・ボランティア）が展示作品について解説します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

◇ セレクション：モネとかピカソとか
◇ うつしと重なり―版画の諸相
◇ 小特集：バウハウス100年

一般展示室（地階）

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。
※展示により開室時間（特に最終日の終了時刻）が異なります。

◆5/28(火)～6/19(水)
第69回埼玉県美術展覧会（県展）(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)……一般展示室 1～4 ほか

◆6/26(水)～6/30(日)
第38回埼玉県高等学校写真連盟写真展(写真)……一般展示室 1
第17回さいたま市中央区美術家協会展(日本画、水彩、油彩、版画ほか)……一般展示室 2
第38回キヤノンフォトクラブ浦和写真展(写真)…一般展示室 3
創作50年記念宮沢善三油絵展(油彩)……一般展示室 4

◆7/2(火)～7/7(日)
埼玉独立展(油彩、アクリルほか)……一般展示室 1
2019埼玉モダンアート展(水彩、油彩、版画、スペースアート)……一般展示室 2・3

◆7/9(火)～7/14(日)
武蔵野美術大学卒業生会東京埼玉支部展(日本画、水彩、油彩、版画ほか)……一般展示室 1
第26回基の会展(油彩、アクリル)……一般展示室 2
第32回白の会洋画展(油彩)……一般展示室 3
第6回下落合フォトクラブ写真展(創立10周年記念)(写真)……一般展示室 4

◆7/23(火)～7/28(日)
第46回埼玉二紀展(油彩、彫刻)……一般展示室 1～4

◆7/30(火)～8/4(日)
第57回公募新構造埼玉展(油彩、水彩、ドローイング、版画、彫刻ほか)……一般展示室 1
第29回旺玄会埼玉支部展(日本画、水彩、油彩、版画、ミクストメディア)……一般展示室 3・4

コラム：MOMASコレクション第1期
「山水から風景へ」

MOMASコレクション第1期では、日本画における自然景観の多彩さをテーマに、「山水から風景へ」と題したコーナーを設けています。ここでは、後期（6月4日～7月21日）に展示する作品を中心に取りあげて、ご紹介します。

日本では古くより、名所絵、月次絵、あるいは参詣図などさまざまなジャンルで豊かな自然景観が描かれてきました。景観を主題とした日本絵画の大半は、西洋の「風景画」のように現実を忠実に写そうとするのではなく、伝統的な構図や描法、モチーフによって定型的に表現され、「山水画」と総称されました。しかし、近世より芽生えていた実証主義的な思考、そして明治期に本格的に紹介された西洋絵画の技法や様式が、日本絵画の景観表現に変化をもたらします。

伝統的な水墨山水表現に西洋絵画の表現を取り入れ、新しい日本絵画の創出を牽引したひとり、橋本雅邦が明治28年頃に制作した《長江晴楼図》は、多様な筆墨による水墨の妙が際立っていますが、同時に、樹木の表現や水平に広がる遠景の表現に、西洋絵画の受容がうかがえます。雅邦に学んだ横山大観、菱田春草ら日本美術院の画家は、明治30年代に無線彩色描法、いわゆる朦朧体という新たな色面表現の模索を始めます。絵具の滲みやぼかしによる色彩のグラデーションは、光線や空間の新たな表現を生み出しました。明治33年に春草が描いた《湖上釣舟》では、大気の表現にその試みがみられます。同年、日本美術院の動きに対して、結城素明、福井江亭(共に前期展示)らは、自然主義を標榜した无声会（むせいかい）を結成し、西洋絵画の写実的な風景表現を取り込みました。

横山大観《漁村曙》1940年（後期展示）

大正期には、輸入画集や雑誌によって、19世紀後半以降の西洋美術の影響が日本画の自然描写にも反映されます。大正4年、速水御舟は、印象派やポスト印象派の様式を取り入れ革新的な日本画を制作した今村紫紅に影響を受け、点描風のタッチ、鮮やかな色彩で《夏の丹波路》（前期展示）を描きました。また、近世以来の南画の分野では、この頃、小室翠雲の《楼閣山水ノ図》、野口小蘋の《僊人観瀑図》などが制作されました。

日本の景観は、四季折々の美しさが描かれるだけでなく、時として日本人の精神を表し、国家を象徴する役割を担いました。昭和15年、大観は絵を描くことで国に報いる、彩管報国を意図し、海と山（富士山）、それぞれの連作を発表、その売り上げを軍に寄付しました。《漁村曙》は同年に制作された作品で、清々しい海辺の情景が描かれています。一方で、大観とおなじく画壇の中心的存在であった川合玉堂は、《高原秋晴》のように、穏やかで身近な風景を描くことで、日本の精神性を表しました。玉堂は円山四条派や狩野派の技法を基礎に、実際に各地の風景を目にし、独自の温雅で平明な風景表現を確立、近代日本画における風景表現のひとつの完成を遂げた画家といえます。

敗戦を経て、あらゆる分野で戦前、戦中の価値観が否定されるなかで、近代に誕生し発展した日本画も変革を迫られます。画家は、従来の表現方法にとらわれず、画題や画法、作品の素材や顔料までも自由に選択し、模索していくようになりました。山岳を主な画題とし、昭和20年代から平成20年代まで弛まず制作を続けた画家、大野百樹の《秋韻》では、夕日に照り映えた山容が、細かに塗り分けられた色面で構成されています。重厚かつ鮮やかな色彩で表現された自然景観は、写実的表現を超え、眼前の風景に対して画家が抱いた純粋な感動、自然への崇敬の念を雄弁に物語っています。

写実性を重視した作品から、画家の心象風景ともいうべきイメージを描いた作品まで、それぞれお楽しみいただければ幸いです。みなさまのご来館をお待ちしております。(M.K.)

ミュージアム・ショップおすすめ商品

今回は、遊び心溢れるスウェーデン製ジャガード織ヒルダヒルダのポーチをご紹介いたします。1995年に誕生したジャガード織製品のブランドです。高品質のオーガニックコットンやリネンを使用しています。化粧品や小物入れとして重宝する小さなポーチ。バッグの中の整理整頓にもおすすめです。(H.N.)

ポーチMサイズ　9.5×12×3cm
綿／麻混　2,700円（税抜）

編集後記

記念すべき「令和」初のソカロです！ソカロでは西暦表記のため登場場面がなくて残念ですが、これからも気を引き締めて紙面編集していきますので、どうぞよろしくお願いします。(S.Y.)

ソカロの編集担当になりましたので、よろしくお願いします。今回は企画展「計良宏文の越境するヘアメイク」をインスタグラム風に紹介しています。ヘアメイクに焦点を当てる、当館初の展覧会になります。乞うご期待。(I.H.)

埼玉県立近代美術館
所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111　FAX・048-824-0119　URL・http://www.pref.spec.ed.jp/momas/
代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp
開館時間・10:00～17:30（展示室への入場は17:00まで）
休館日・月曜日(7/15は開館)、6/25　入館料・無料　観覧料・上記をご覧ください。

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分（北浦和公園内）。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
※当館に来館者専用の駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります（企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き）。
団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、台数に限りがありますので予めご了承ください。

発行・埼玉県立近代美術館　編集・平野到・谷田昇平　原稿執筆・(I.O.)大浦周 /(H.S.)鴫原悠 /(M.K.)菊地真央 /(H.N.)名古屋仁美 /(S.Y.)谷田昇平 /(I.H.)平野到

©埼玉県2005